東京東村山ロータリークラブ





国際ロータリー・テ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために





Vol.44 第2177回例会

2011.7.28

今年度会長テーマ

和の心 自然に学びて未来を創ろう

ョータイムもあり和やかな一時でした。

こんにちは、本日は第2580地区ガバナー補佐 栗原高明

様、分区幹事 藤野豊様ようこそおいで頂きました。

今月は45周年のPRも兼ねて表敬訪問に伺っていますが、 昨日は東京福生RC夜間例会に野村幹事と出席してき ました。前年度会長、幹事の慰労会でもあり御婦人も 同席し会場である石川酒造の雰囲気も良く、会員のシ

卓話は第2750地区パスト・ガバナーで東京立川こぶし RC会員の新藤信之様でした。日本の会員数減少に関

してデーターを示しながら、これまでの推移と今後の あり方を話して頂きました。特にこのままでは2、3年 後には会員数20人以下のクラブが5分の1になる。少人

数クラブでは例会出席率が60~70%なので、これでは

活性化は難しい。月一回100%例会を開きクラブ協議会 を開催しクラブのあり方を協議することも大切です。

また、いくつかのクラブが合同で活動をするようにな

会員増強にはロータリーの魅力として、地域社会のニ ーズをとらえ長期的、継続的な手法を考え出す必要が ある。東京福生RCも22名のスタートです。会長も増 強をテーマに掲げています。ただ、東京立川RC、東

京立川こぶしRC等80~100名の会員を有すクラブもあ

ります。当日は米山奨学生の粘君がみえており、クラ ブに溶け込んでいました。武蔵野美大でカーデザイン を専攻し東村山に住んでいるそうです。我クラブの米 山月間に来ていただき、朴君と二人卓話をお願いして もいいのではと思いました。加藤カウンセラーも楽し

今日の卓話は栗原ガバーナー補佐です。楽しみにして

■司会: 石山例会運営委員長



■点鐘:小町会長

■合唱:ロータリーソング 「それでこそロータリー|

◆ソングリーダー: 石山会員



■お客様紹介: 目時パスト会長

会長報告



小町会長

◆ゲスト:多摩分区分区幹事 藤野 豊様 多摩分区ガバナー補佐 栗原 高明様

■幹事報告

みのようです。

います。

ってくるでしょう。

野村(高)幹事



■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30

■例会場/八坂神社 社務所 〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1



■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500



■青少年交換委員会:

第46期派遣学生、地区委員会への帰国報告会案内の受理 9月7日(水) 18:00~20:00 於 学士会館

- ■(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース: 理事会緊急決議についての連絡の受理 6月3日理事会にて寄付増進の緊急決議を採択
- ■ガバナー事務所:
- ・ガバナー公式訪問について(2011.9.29) スケジュール 10:30~11:00 会長・幹事打合せ

11:15~12:15 クラブ協議会

12:30~13:30 例会

- ・ロータリー会合に関する依頼について ①クールビズ推進→ノーネクタイで参加
- ②ガバナーへの対応→過大な敬意は不要(一会員と同じに)
- ・日本震災復興プロジェクトについて三度目のお伺い の受理

メ切り 8月19日

■回覧:

武蔵野女子学院 ニュースレター

■例会変更:

東京小平RC

8月10日(水)→休会

8月31日(水)→8月28日(日) 移動例会(家族親睦会) 9月28日(水)→東京東久留米RCとの合同夜間例会

■出席報告 野村(裕)例会運営委員



在籍会員数	出席	免除	欠 席	出席率
32	25	0	6	80.65

- ■前々回メークアップ修正後前々会欠席:3名
- ■前々回出席率メークアップ修正後:90.00%
- ■前々会メークアップ者:

相羽会員:新宿RC 飯田会員:京都RC 北久保会員:清瀬RC

■ニコニコBOX 相羽クラブ管理委員

■皆出席: 山本会員(14回目)





◆栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事:

本日はご挨拶に伺いました。一年間よろしくお願いします。

◆目時会員:栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、一年 間よろしくお願いします。

◆山本会員: 栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、よう こそいらっしゃいました。

◆當麻会員: 栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、今年 度よろしくお願いします。

◆小町会長、野村幹事:

栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、よう

こそいらっしゃいました。

◆神崎会員:栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、本日 はご苦労様です。お身体に気をつけて頑

張って下さい。

◆中丸会員:栗原ガバナー補佐、藤野分区幹事、今年

度よろしく願いします。

◆石山会員、戸澤会員:

写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計: 33,000円 累 計 : 218,700円

■委員長報告

■戸澤国際奉仕委員長



先週7月21日14時より、日本橋ロイヤルパークホテルにて、国際奉仕委員会の研修会議がありました。主に各クラブの活動状況、オンツーバンコクがテーマでした。当クラブのオンツーバンコクの予定ですが、来年5月6日~9日の期間を目途に国際大会参加を計画しておりますので、多数の参加を期待しています。

■漆原ロータリー財団 委員長



昨日7月27日、地区のロータリー財団セミナーが如水会館で行われ、戸澤国際奉仕委員長、田中社会奉仕委員 長と共に出席致しました。

セミナーの内容は、補助金管理関係では①未来の夢計画、

新補助金制度②グローバル補助金③新地区補助金④補助金の申請について、そして東日本震災復興プロジェクトの二点について協議致しました。

■當麻職業奉仕委員長



地区の職業奉仕委員会に出席してまいりました。職業 奉仕の12カ条を各クラブごとに徹底するように協力の 要請がありました。

■赤木クラブ管理委員長



8月20日に開催される家族親睦例会についての案内を致しますので、ぜひとも多数のご参加をお願い致します。

■会員報告

■村越会員



ロータリアンとして被災地に行ってきましたので、報告させて頂きます。先週24日に地震と津波の三陸海岸に、 1 t トラック1台を借りて行って参りました。

持って行ったのは、エレクトーン、オルガン、リコーダー100本、鍵盤ハーミニカ、カスタネット、鈴、ギター、鉄琴、木琴などです。それと、隅屋会員から預ったアコーディオン、バイオリン、すべり台、本などを届けてきました。

朝4時に出まして、仙台からの道が混んでいて、途中迷って山の中に入ってしまいましたが、何とかして辿り着きました。

持って行った楽器等は大変喜ばれまして、保育園に置いてくるはずでしたが、授業をやっておりましたので、 先生の家に置いてきました。その後、小学校・中学校・ 保育園に分けるとのことです。

現地は、テレビに出ているような戦争後の焼け跡のようでした。海の側ではなかったので、臭いはありませんでしたが、印象的だったのは、車の山でした。そして、3階建のビルでも3階まで窓が壊れて何もないことに驚きました。

夜11時までに出なければならなかったのですが、現地の様子を肌で感じることができ、よい社会勉強になり

ました。ロータリアンの一人として、奉仕活動させて 頂き、ありがたかったので、ご報告させて頂きました。

■ゲスト挨拶

■多摩分区分区幹事 藤野 豊 様



本年度、水野年度は「簡素にして充実」という言葉では分かりやすいですが、地区の連絡会に分区幹事としての参加がなく、地区の情報が入りづらいので、例年と違って、どうしたら分区内のクラブのためになるのかまだ分からないのですが、除々にガバナーの真意を汲み取りながら1年間頑張りたいと思います。

先ほどの、財団の話に触れたいのですが、昨日財団セミナーに行ってきました。私は以前、地区の国際奉仕委員長を務めていた時に、財団の管轄にあったので色々勉強させて頂きました。昨日の財団の話で、2つの寄付金があるということでした。1つは、日本ガバナー協会が抱えている9億6千万円です。そのうち1億2千万円は寄付しており、8億4千万が残っているのですが、これを日本ガバナー会でどうするかというのが問題となっています。

もう1つが、財団に入ってくる義援金です。財団内に、 震災救援のための基金ができ、3億弱のお金があります。 本年度は通常の財団の使い方をせずに、震災に特化し て使いたいので、ぜひいい案があれば提案して欲しい とのことです。皆様、いい案を出して頂ければと思い ますが、これはフィフティーフィフティーですので、 例えば東村山ロータリークラブから50万円を出したら 財団からも50万円を出してもらえます。必ず援助につ ながると思いますので、皆様にご検討頂きたいと思い ます。

また、昨日参考になったのですが、ファイブフォーワンズと言いまして、向こうのロータリークラブを5クラブ、もしくは3クラブでも構わないのですが、複数のクラブで助けるという案が発表されました。多摩分区は会員が減ってきており、厳しい状況ですので、分区として向こうのクラブを援助するというやり方もあると思います。皆様色々と案はあるかと思いますが、分区として取り組んだ方が各クラブの負担も少ないと思いますので、ご検討頂きたいと思います。

■卓話

■卓話者: 多摩分区ガバナー補佐 栗原 高明 様



本年度、多摩分区ガバナー補佐を務めることになりま した、武蔵村山ロータリークラブ栗原です。 私は、29年目とロータリー歴は長いのですが、あまり目立たないメンバーでした。しかし、私のクラブの会員が減ったり、過去に会長・ガバナー補佐をされた方が退会、病気を患ったりされ、私の番となりました。私の持っている力を精一杯出していきたいと思いますし、多摩分区がもっと交流を持った良い分区になれるようにと考えております。本日は、ロータリーの話を取り入れながら3つのことをお話したいと思います。

まず1つ目が、私の紹介も兼ねて、私の生い立ちとロータリークラブ入会の動機です。

私は、昭和13年、農家の長男として生まれました。昭和29年に農業高校に入学しました杉山さんとは同級生で、山岳部を通じて非常に仲良くさせて頂きました。その農業高校3年生の時(昭和31年)に、アメリカを訪問するチャンスがありました。こんな機会は2度とないということで、勉強しに行って参りました。

戦後まもなく、国務省に日本とアメリカの文化交流をしようという文化交流部がありました。そのなかに、PERSONAL EXCHANGE SERVICE DIVISIONという人物交流のセクションがありました。日本とアメリカ、お互いの国を見ることが大事だということで、私達が行っている高校生の交換留学生と同じような感じで始まった事業だと思います。

そこで学んだことは、FOR YOU(=人のために)の精神というものでした。アメリカでは、学生のボランティアが盛んでした。就職・進学に有利ということもありまして、学校もボランティアを勧めており、学生は非常に関心を持っていました。

そういうことを目の当たりにし、色々な話を聞いて帰国したのですが、その時に思ったのが、「人間10の力があれば、1を地域・人のために尽くす」ということでした。その考えは帰国後もずっと心の中に残っておりました。大学卒業後サラリーマン、自営スタンドと色々とやりましたが、ボランティア活動に関心を持ち、昭和44年、土方さんも良くご存じの立川青年会議所に入会しました。そして、昭和57年、武蔵村山RCに入会致しました。辿っていくと、当時アメリカに行った時の思いがロータリーに入会する動機になったのかなと今では考えています。

私は現在、武蔵村山で老人ホームの仕事をしております。 サラリーマンの時とは180度違う仕事をしておりますが、 これが自分のライフワークになるのかと思い、また人 のためになるのではないかという思いもあり、自分の 最後の仕事として始め、現在に至っております。

さて、2つ目ですが、東日本大震災がありまして、昔の日本はよかったという人も多いので、最近の社会を見て私が思っていることをお話したいと思います。

震災の取材で、海外のメディアが「日本人は礼儀正しく、ルールを良く守る」と言っており、同感致しました。 また、最近の新聞広告の大きな見出しで、出光佐三さんの言葉で、「日本人にかえれ。日本人が大切にしてきた和の精神、互譲互助の精神がなくなってきている。 自分の利益を追求するのみでなく、人のために事をなす。」 と出ていましたが、この時期に非常に考えさせられる言葉だと思います。

さらに、ベストセラー「国家の品格」の著者、藤原正彦さんの最近の著書「日本人の誇り」に、こんなことが書いてありました。「我が国の古来の良さを忘れ、市場経済に代表される欧米の論理、合理に身を売ってしまったのではないか。」藤原さんは、この本の中で日本の良さを語っており、私も同感致しました。

そして、もうひとつ、5年前の日本経済新聞のコラムで

すが、作家であり幅広い文明批評をされている五木寛之さんが、「今の日本をどう見ていますか」という問いにこう答えておりました。「物質的には豊かだが、心貧しい国。今の日本は戦後最悪の状況にあると思ういの命というものが、これほど軽くなった時代はないか。毎朝、新聞を見て、悲惨な殺人事件がついまうに、連日大見出しで出る時代は、かつてながします。」「子供の殺人事件の後では、からない人に道を聞かれたら、走って逃げろという風に教えるそうですが、そんな教え方あるいでという風に教えるそうですが、そんな教え方あるいでというか。最近では、隣のおばさんに家に遊びにおいでと言われても、行ってはいけないと教えなければならない。近所の人、地域の人すら信頼できない。凄まじい時代になってしまった。」

戦後の教育には色々とご意見はあるわけですが、震災があったことで、日本の原点を考え直さねばならない良い機会なのだと思います。そういう意味で、ローうなリー活動を一生懸命やることは、今申し上げたような本来の日本の良さを取り戻すことに通じるのではないかと思います。生活が豊かになることは、だれも異論はないと思います。しかし、物の豊かさ、心の豊かさが車の両輪のようになったとき、人間は本当の豊かさを味わえるのではないでしょうか。

3つ目ですが、これから1年間、皆さんと楽しくロータリー活動をやっていきたいというお話です。

今年から、4大奉仕から新世代奉仕(5大奉仕)となりましたが、私はロータリー活動の基本は例会にあるのだと思います。今年は、楽しくなくては意味がないということで、enjoy rotaryという風に決めさせて頂いて1年間取り組んでいくわけですが、その中で特に魅力ある例会、親睦に力を入れていきたいと思います。それが、退会防止・会員増強につながると考えております。

水野ガバナーが、わくわくする楽しい例会を提唱されておりましたが、講師の選定はもちろん、東京クラブで講師を募ったら50人手を挙げましたので活用して頂きたいです。また、上野ガバナーが申し上げました会員卓話を入れることも大事ではないかと考えております。会員の仕事、その内容、生い立ち、ロータリークラブ入会の動機、自分の考え、今の社会への思い等を話すことで、自分を知ってもらう機会、また会員を知る機会となるので非常に大事です。知人から友人へならなければなりません。

それから、親睦も非常に大事だと思っています。恒例行事(旅行、納涼会、クリスマス会、炉辺会合)や、同好会の活動(ゴルフ、囲碁、将棋、音楽、野球等)がクラブの活性化につながり、会員相互のコミュニケーションの向上につながると思います。このことは、会員増強の一環である退会防止にもつながります。

また、多摩分区は、それぞれ特色ある地域奉仕事業を行っており、その役割も担っています。(秋川ミニサッカー、中学女子バレー、福生蛍祭り 東大和福祉祭り、武蔵村山少年野球東西対抗など)こういった活動をすることで、ロータリーの知名度が上がり、入会のきっかけになるのだと思います。

最後になりますが、自ら進んで入ったロータリークラブですので、楽しくなくては意味がないということで、enjoy rotaryというビジョンで1年間進めて参りたいと思います。

■点鐘:小町会長